

平成28年度 第九中学校の学校経営計画について(概要)

足立区立第九中学校長
長塚琢磨

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する

生徒行動指針 (校訓)

磨く
自分自身のよさを見だし、向上していく。

挑む
できないことや新しいこと等に立ち向かっていく。

思いやる
自他の違いを認め、尊重する心を育む。

教職員指導指針

「やさしく厳しく指導する」
生徒がわかるまで、できるまで指導する。
「組織で職務に当たる」
報告・連絡・相談を密にし、組織で仕事を推進する。

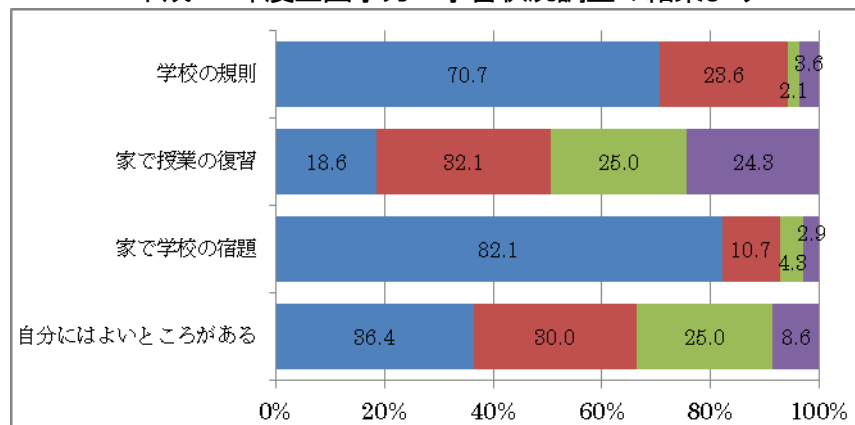
基本的な考え方

【学校経営の3つの柱】

- 学力向上
- 健全育成
- 小中連携による活力ある生徒の育成

- わかる授業・できる授業づくりと家庭の協力が必要である。
 - ・学習意欲の向上 (授業改善、コンテスト等の機会拡大 など)
 - ・学習習慣の確立 (宿題等の工夫、家庭学習の充実 など)
- 義務教育の最終段階として自立させる指導が必要である。
 - ・規範意識の向上 (社会性を養う、人権感覚を磨く など)
 - ・生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ごはん・運動 など)
- 発達の段階に合った指導の充実の必要がある。
 - ・エビングハウスの忘却曲線を踏まえた学習の充実
 - ・スキヤモンの発育・発達曲線を踏まえた心身の健康
 - ・生徒の自尊感情や自己肯定感を高める指導 など

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果より



※ 上のグラフは、左から「当てはまる」「どちらかという当てはまる」「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

平成28年度の重点と主な取組

指導の重点

学力向上
基礎的な学力の定着と思考力・判断力・表現力を育成し、国際感覚をもったグローバル人材を育成する。

豊かな心の育成

思いやりの心を育てるとともに、自治の力を身に付けさせ、自己有用感や自尊感情を高める

体力向上

全ての活動の源である体力の理解を深め、生涯にわたって健康で豊かな生活を送る基礎を育む。

小中一貫教育の視点による指導の充実

義務教育9年間で体系的・系統的な指導を行い、次代を担う活力ある子どもを育成する。

指導体制の充実

学校・家庭・地域がチームとして子どもを育てる仕組みの構築や授業力の向上を図る。

主な取組

個に応じたきめ細かな指導、教科コンテストの実施、ESL (エクストラ・サプリメント・レッスン)、夏季補習教室や土曜スクール、各種検定の推進、英語教育拠点校の実践 など

挨拶や礼儀・マナーの推進、人権教育の推進、道徳教育の充実、学校行事等における生徒の主体的な取組、自治活動の充実、社会貢献活動の推進 など

保健体育等の授業の改善・充実、生活習慣や運動習慣の確立、部活動の推進、食育の推進、スーパーアクティブスクールの実践 など

足立スタンダードを活用した指導の充実、小学生の中学校授業や部活動等の体験、夏季休業中における連携・協力による補習学習、指導内容の系統性を踏まえた授業研究 など

学校・家庭・地域の連携・協力の強化、開かれた学校づくり協議会等の充実、OJTの充実、若手教員の育成、HP、各種便り、公開授業等による情報発信 など